

「ふくしま国見物産展」 初開催

～くにみのおすそわけ～



ふくしま国見物産展「くにみのおすそわけ」が9月15日から22日までの8日間にわたり、東京都東銀座の歌舞伎座地下2階「木挽町広場」で行われました。国見町単独での物産展は初めての開催でしたが、連日多くの買い物客で賑わいました。

物産展には、モモ「さくら」や「シャインマスカット」や「ピオーネ」などのぶどうをはじめとする旬の果物や、モモ大福やジャム、ジュースなどの6次化商品、商店街の商品などたくさんのお土産の商品を取りそろえ、試食・販売を行いました。特にモモとぶどうが人気で「国見の果物は甘くておいしい。もつと食べてみたい」と消費者から好評でした。物産展には太田久雄町長をはじめ、果樹生産者やミスピーチキャンペーンクルー、商工会などが参加し、国見町の魅力や農産物の安全性をPRしました。また、国見町応援サポーターも物産展の応援に駆け付けてくれました。

物産展が開催された「木挽町広場」は人気観光スポットである歌舞伎座内にあるため、東京都内の人だけでなく、全国各地からの観光客も多く訪れました。また、外国人観光客も多く「福島県国見町」を知らなかった人に、国見町のことを広く知ってもらおうきっかけとなりました。

『国見のたからもの』No.29



昭和初期頃の小坂宿の風景（所在地：大字小坂字小坂地内）

小坂宿は、羽州街道有数の難所である小坂峠の登り口に位置する宿場で江戸時代初期（1600年頃）に整備されたと考えられます。桑折宿追分を基点に小坂、七ヶ宿を通り山形方面へ続く羽州街道は、出羽諸大名が参勤交代で多く利用し、小坂宿には大名が休息する本陣、旅人の旅籠、問屋、口留番所等が並び繁栄しましたが、明治以降、その役割を終えます。

現在も古い街並みや町割りにより当時の街道の雰囲気が残されており、今年度は福島大学の学生によって小坂宿をまるごと博物館として発信していく「エコミュージアム」に取り組んでいます。

※「エコミュージアム」とは、ある地域全体を博物館と見立て、地域を学習し、交流していく活動。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

～今月の表紙～



今年の義経まつりでの義経公行列の様子です。雨が降っているにもかかわらずたくさんの方にご来場いただきました。

28	26	22	20	18	17	16	15	14	13	12	8	6	4	3	2	
カレンダー	生涯学習つうしん	くらしの情報	保健だより	まちのわだい	小さな天才たち（くにみ幼稚園）	まちのサークル（若柳会国見教室）	復興のあしおと	町長と対話の日	町からのお知らせ	「国見町心援大使」「国登録有形文化財」	国見町敬老会	平成27年度決算・財政状況	平成28年度国見町総合防災訓練	義経まつり	ふくしま国見物産展	目次